

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

流産後、子宮超音波高血流領域を有する症例に対する多角的評価に関する研究

A multifaceted evaluation is useful for the management of a case with high blood flow in uterus on ultrasound after miscarriage

1．研究の対象および研究対象期間

2018年7月から2024年6月までに、昭和大学藤が丘病院を受診し、流産後に超音波カラードプラ法で子宮に高血流領域を認めた18名の患者さんを対象に、先行流産の治療法、血中hCG値、hCG値が陰性化するまでに要した週数、超音波ドプラ像の大きさ、最終的な治療法、病理学的検索について、後方視的に検討します。

2．研究目的・方法

流産で組織が消失した後に、まれに超音波カラードプラ法で強く光る血流像を認めることがあります。その場合には、妊娠組織の遺残、動静脈奇形、動脈瘤（真性・仮性）、動静脈瘻、腫瘍性病変（絨毛性腫瘍）、非腫瘍性病変（局所の炎症、過大着床部）などが考えられます。画像上それぞれに特徴的な所見はなく、鑑別は困難です。本来ならば、血中hCG値の測定と共に病理学的検索を行いますが、妊孕能温存を優先するため、子宮の組織を侵襲的に評価する病理学的な検索を行うことは躊躇されます。一方、疾患によっては深刻な病態を引き起こす場合もあるため悩ましい事態に陥ります。

そこで、上記病態を有する患者さんの当院での治療経過を後方視的に調べ、最適な管理法を見出すことを目的とします。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

先行流産の治療法、血中hCG値、hCG値が陰性化するまでに要した週数、超音波ドプラ像の大きさ、最終的な治療法、病理学的検索

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学藤が丘病院産婦人科 松浦 玲

研究分担者	昭和大学藤が丘病院産婦人科	佐々木 康
研究分担者	昭和大学藤が丘病院産婦人科	中山 健
研究分担者	昭和大学藤が丘病院産婦人科	森岡 幹
研究情報管理者	昭和大学藤が丘病院産婦人科	森岡 幹

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院産婦人科

氏名：松浦 玲

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151